

第12回 議会改革調査特別委員会 会議録

日 時 令和7年6月3日（火曜日） 午前11時12分 ～ 午前11時48分
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳 副委員長 梅田 徳男
委員 川辺 隆 委員 芝田 英範 委員 安東 鉄男
委員 甲斐 尊 委員 平川 幸司

欠席委員の氏名

委員 川辺 隆

オブザーバー

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋佳希 書記 原 伸行 副主幹 工藤真里子

傍聴者

（ な し ）

協議事項

1. 議会生配信の拡大について
 2. 議員間討議会について
 3. その他
-

午前11時12分 開議

協議事項

1. 議会生配信の拡大について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

- ・実証実験に当たっての確認事項については、今回資料も配付されているため、内容を確認した上で、次回以降の委員会を出していただくようにしたい。

○議長（内藤康弘）

- ・生放送の実施に当たっては、不穏当発言等があったときの対処法を含めた部分も十分検討してほしい。運用を整備した上で取り組んでいけるよう検討してほしい。

【協議結果】 ・実証実験に当たっての確認事項は次回意見を求め、令和7年9月定例会から実施できるよう検討を進める。

2. 議員間討議会について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・議員間討議会の実施に当たっては、執行部（政策監、担当課）は同席が調整できれば、議員の生の声を聞くことで、今後の施策を進める上での一助にもなり得るため、そのほうが良いのではないかと思う。今回、困難であれば、次回同席の必要性についても検討してほしい。
- ・資料を見ると、令和7年の取り組みは、『食』に関わるものが多いため、議員間討議会は、『食』に関わるものに限るのか、そうすると議員全員が意見発表するのは難しくなると感じた。自分としては、「土づくりセンター」の件について意見をしようと考えていた。
- ・今回の議員間討議会は、執行部側と議員側の意見の違いを確認する部分もあるので、執行部が考えている事業と必ずしも一致する必要はなく、議論が深まって良いと思う。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・今回は、事前に同一の資料、情報を聞いた上で、食文化、食に絡めてそれぞれの議員が自由意見を言ってよいものとして進めていきたい。
- ・資料等で示された考えの中に納まらず、突拍子もないような自由な意見が出るようになればよいと思う。
- ・発言は、1分程度とあるが守らない場合はどうするのか。また、1名の発言は、だいたい2回程度となるのか。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・発言は1分程度としていて、2分経つとアラームが鳴るよう準備している。一人の発言が長いと時間を超過するので気を付けて行うようにしたい。

○議長（内藤康弘）

- ・議員間討議会の前に実施される全員協議会で、『第2次白杵食文化創造都市推進プラン』の報告も予定されているとのことなので、その内容も把握した上で、積極的に発言していただければと思う。

【協議結果】 ・6月10日（火）の議員間討議会の実施については、配付資料のとおり実施する。

3. その他

◎事務局（原 伸行）

- ・令和7年6月定例会の議会だよりの作成の流れの確認及び掲載記事の提案依頼

○委員（意見）

- ・議員間討議会の内容の周知は行うのか。

⇒事務局（原 伸行）

- ・実施に当たっての目的やルールについては、当日の冒頭に行うよう予定している。また、会派代表会議及び議会運営委員会でもお知らせすることとしている。

- ・議会放送に常任委員会を含めるかの検討は継続するのか。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・継続審議として取り扱いたい。

○委員長（伊藤 淳）

- ・次回開催日は、7月1日（火）13時30分から行いますので、予定願います。

午前11時48分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年6月3日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳